

ホームページへの掲載		
済	月 日	掲載予定

岐阜県立可児高等学校

学 校 長 榎部 祐成
学 校 住 所 岐阜県可児市坂戸987の2 電話 0574-62-1000

- 1 会議の名称 岐阜県立可児高等学校 学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 委 員 | 大野 裕司 | (元美濃加茂西中学校長) |
| | 奥村 忍 | (坂戸地区自治会長) |
| | 桂川 直人 | (岐阜県農業大学校長) |
| | 松井 慶子 | (元本校PTA役員) |
| | 松尾 和樹 | (NPO 縁塾代表) |
| 学 校 側 | 榎部 祐成 | 校長 |
| | 武田 理 | 教頭 |
| | 今枝 弘幸 | 事務長 |
| | 伊左治 錦司 | 教務主任 |
| | 岩島 章雄 | 生徒指導主事 |
| | 金本 淳 | 進路指導主事 |
| | 竹中 俊文 | 教務部・記録係 |
- 3 会議の目的 学校運営について、保護者や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年2月7日（水） 14:30～16:30 可児高等学校校長室
学校評議員5人と学校側7人が出席
- 5 会議の概要
- 授業参観・校内見学
 - 学校長挨拶
 - 議題
 - 教育に関する年間数値データについて
 - 各分掌より
 - 教務部
 - 進路指導部
 - 生徒指導部
 - その他
 - ご提言・ご感想等
 - その他
- 6 ご提言・ご感想等

(1) アンケート結果について

- 意 見 1 体育大会と文化発表会ではどちらの評価が高いか。
回 答 他校の文化祭とは違い、クラス発表がないため、文化発表会に特徴があるといえる。しかし、クラス発表がない分、不満足と感じる生徒もいるのではないかと考える。逆に、体育大会では、直前の1週間の午後からの時間を応援や軍団ダンスの準備に充てるなど、充実感や達成感を味わっている生徒は多いと考える。
- 意 見 2 数値が変動するのはある程度仕方のないこと。学校独自項目の内容を、校訓や学校が目指す生徒像が達成できているかを聞けるような内容にするとよい。

- 回 答 次回に向け検討する。
- 意 見 3 (ホームページに関わる評価が下がっていることについて)
ホームページを確認したが、見やすく整理されているし、更新の頻度も高い。保護者が求めている情報は何かを知るべきではないか。
- 意 見 4 通塾率が高いのは、先生の授業についていこうとする気持ちの表れではないか。他の項目をみると、先生への信頼感が高い。先生方が「君たちは頑張っている」ということを生徒に発信していくべきだと思う。
- 意 見 5 分からないことは学校の先生に聞く。しかし、学校や図書館などは遅くまで開放されていない。今の子どもたちは自宅では誘惑も多く学習できない。自習できる場所を求めて塾に通っている子どもが多いように思う。
- 回 答 学校でも放課後や土曜に自習室の開放を実施している。特に今年度は新たに個別で学習できるブースも新設した。しかし、平日は6時完全下校ということもあり、利用者は多くない。時間的に学習が中途半端になってしまうからだと考える。

(2) 生徒指導について

- 意 見 1 善い行いを表彰することについては、今後も続けてほしい。
- 意 見 2 小学校でも不登校が増えてきている。大人の引きこもりもたくさんいる。個別の対応でしか救えない。スクールカウンセラーはいるか。
- 回 答 常駐ではない。年9回来校される。小中学校には常駐の流れができています。ゆくゆくは高校にもという流れはある。
- 意 見 3 個別の対応と臨機応変の指導が必要となる。きめ細かい指導をお願いしたい。

(3) 進学指導について

- 意 見 1 新しい試みが続いているよ。
- 意 見 2 手厚さを感じる。自分の子どもが通っていた頃より進路指導が充実している。
- 意 見 3 塾から講師が来ているが協力的だということか。
- 回 答 塾が主催している模試を受験している塾からは無料で講師が来てくれる。苦手克服講座では、前年の模試の解説はもちろん、塾の視点から勉強の仕方も指導していただいた。
- 意 見 4 アンケート結果からボランティア活動を充実していく必要がある。オープンエンリッチでそれができるように思う。
- 回 答 今年度、推薦入試を受験した生徒でオープンエンリッチでの活動が面接に生きた。現在の中学3年から入試制度が変わって、志望理由書や特別活動履歴を評価されるようになっていく。さらに充実させていきたい。

6 会議のまとめ

生徒の授業に取り組む姿勢や、学習や進路の指導、生徒指導などを始めとする教員の指導、学校の取り組みについて評議員のどなたからも好意的で高い評価をいただいた。さまざまな取り組みを継続・改善しつつ、さらに高い評価をいただけるよう努力を続けたい。

善行表彰を全校集会にて、実施したことでボランティアの意識が高まった。それを評価していただく一方、さらに充実させるべきというご意見もいただいた。地域連携活動（オープンエンリッチ等）や学校行事を通して、ボランティアの精神や自主自立を促す指導をしてきたい。

また、情報の提供や広報の方法や内容について、課題があるというご指摘もあった。在校生や保護者が求めている情報は何かを知ること、地域に発信していく情報の内容を考えること、そして、それらをどのような方法で伝えていくかについて、今後も検討し、改善していきたい。